

TASCAM

TEAC Professional Division

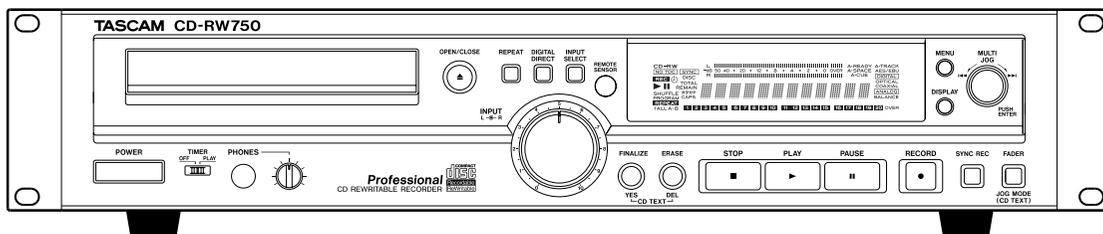
D00808200A

CD-RW750

CD Rewritable Recorder

Professional

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

警告

	万一、煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

	<p>この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>

⚠ 注意

	<p>オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。</p> <p>電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほごりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所 <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>
	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>

このたびはTASCAM CD-RW750をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

はじめに.....	4
コンパクトディスクについて.....	6
リモコンの使用法.....	7
接続.....	8
基本操作.....	10
再生.....	10
選曲するには.....	12
リピート再生.....	13
シングル再生.....	14
シャッフル再生.....	14
タイマー再生.....	15
プログラム再生.....	16
録音の前に.....	18
録音のための設定.....	18
CDを簡単にコピーするには.....	20
録音.....	22
録音するときに便利な機能.....	24
シンクロ録音.....	24
フェードイン・フェードアウト.....	24
デジタルダイレクト.....	25
モニター.....	25
消去.....	26
ファイナライズ.....	27
CD TEXTの入力.....	28
ディスプレイの表示.....	30
メッセージ一覧.....	31
おや?故障かな?.....	32
仕様.....	33
お手入れ.....	33
保証とアフターサービス.....	34

ご注意

音楽、映像、コンピュータプログラム、データベース等の著作物は、著作権法その他の法規、または、お客様との間で締結される使用許諾契約に基づき、その複製や使用について制限されることがあります。複製等をされる前に、著作物毎の条件を充分ご確認くださいの上、本装置を適正にご使用くださいますようお願いいたします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負いたしません。

結露について

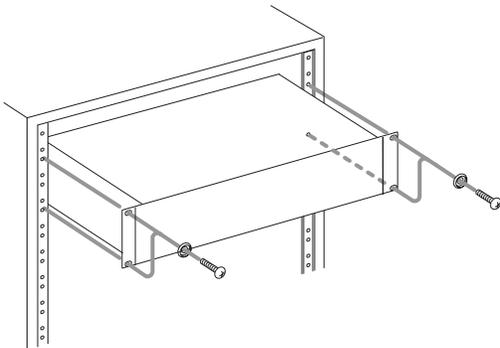
本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

設置上の注意

本機の動作保証温度は5度～35度です。

CDレコーダーは、一般のCDプレーヤーよりも熱に敏感ですので、設置の際は以下の点にご注意ください。

- 放熱を良くするために、CDレコーダーの上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- ラックにマウントする場合は、付属のラックマウント用ねじを使って下図のように、取り付けてください。なお、1 U以上のスペースを本機の上に開けてください。



コンパクトディスクについて

CD-RとCD-RW

CD-Rディスクには一度だけしか録音できません。録音した曲を消去することもできません。ただし、ディスクの録音可能時間が残っている場合は、追加録音することができます。録音が終わったCD-Rをファイナライズ(27ページ)すると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(一部のCDプレーヤーでは再生できないことがあります。)

CD-RWディスクの場合は、録音可能時間がいっぱいになっても、録音した曲を消去すれば繰り返し使用することができます。ただし消去できるのは、指定した曲から最後に録音した曲までです。途中の曲だけを消去することはできません。

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

ファイナライズ

音声データをCD-RやCD-RWディスクに録音しても、最終的なTOC(録音したデータの情報)をディスクに記録しなければ、一般のCDプレーヤーで再生することはできません。

TOCを記録することをファイナライズといいます。ファイナライズしたディスクには、録音することができません。ただしCD-RWの場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます。

(TOC : Table of Contents)

使用上の注意

以下のマークのあるコンパクトディスクをお使いください。



データ用CD-R

データ用CD-RW



音楽用のCD-R/CD-RWの価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

データ用のCD-R/CD-RWは未記録のものをお使いください。

High Speed、およびそれより高速記録のCD-RWは使えません。

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの録音/再生は片面だけです。)
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



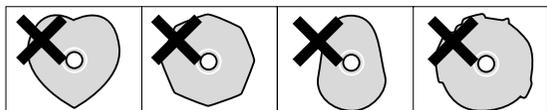
- 信号録音面(レーベルがない面)には触れないでください。指紋や脂などが付着していると、録音するときにエラーの原因になることがあります。
- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



リモコンの使用方法

使用上の注意

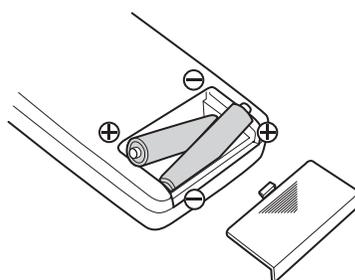
- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 再生が終了したディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れてください。



電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

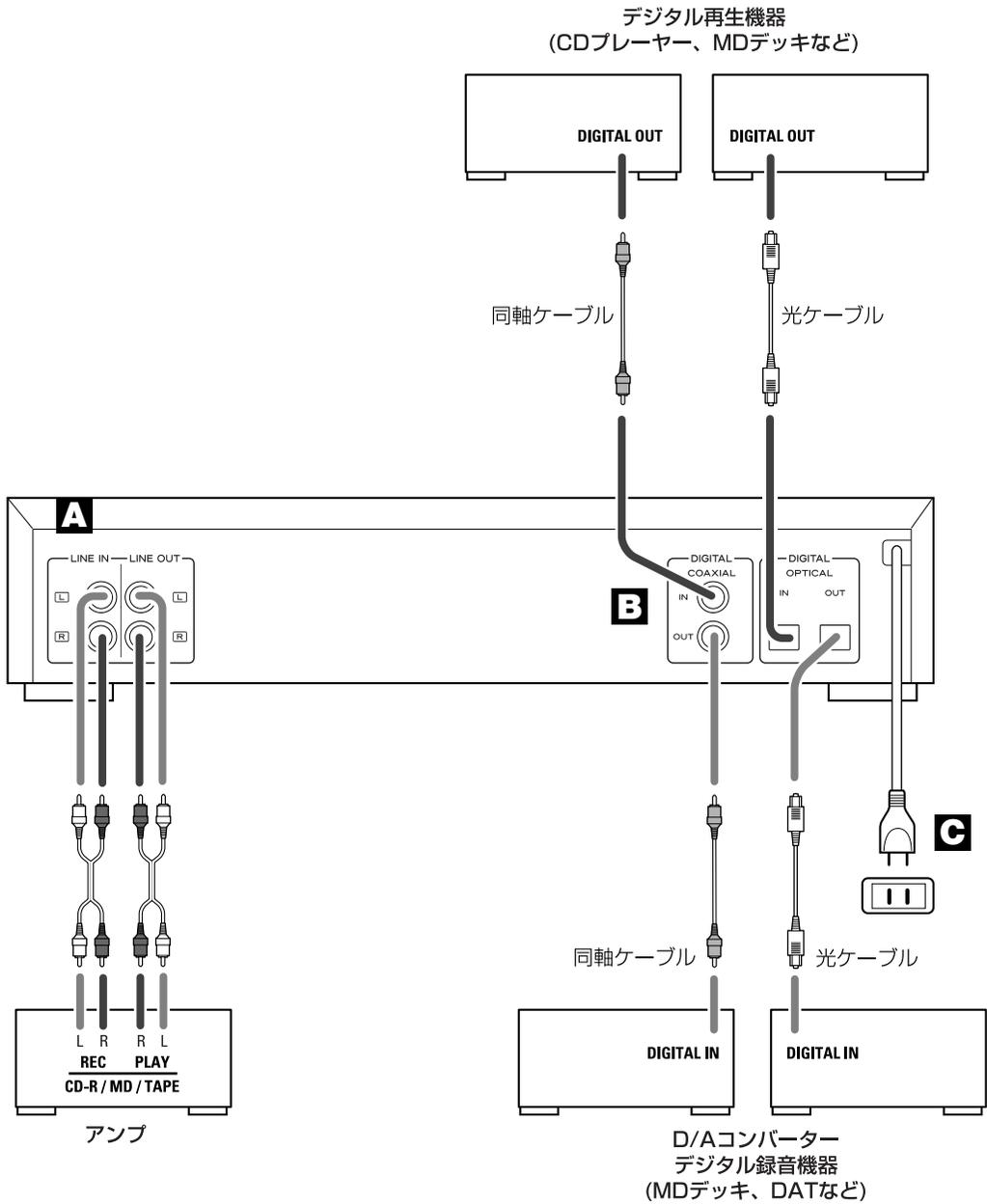
電池についての注意

- ⚠ 乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

接 続

⚠ 接続時の注意

全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A 音声入出力端子 [LINE IN/OUT]

アナログで録音/再生するとき 사용합니다。アンプやカセットデッキなどの音声入出力端子と接続してください。

- アンプ側にCD-R用の入出力端子がない場合は、MD、TAPE用の端子に接続してください。
- オーディオケーブルは、白のピンプラグを白(L)端子と、赤のピンプラグを赤(R)端子と接続してください。

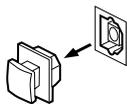
白(L)  白(L)
赤(R)  赤(R)

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B デジタル入出力端子 [DIGITAL IN/OUT]

光ケーブルまたは同軸ケーブルを使って、CDプレーヤー、MDデッキ、CS/BSチューナー、D/Aコンバーターなどのデジタル入出力端子(DIGITAL IN/OUT)と接続します。

- 光ケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。



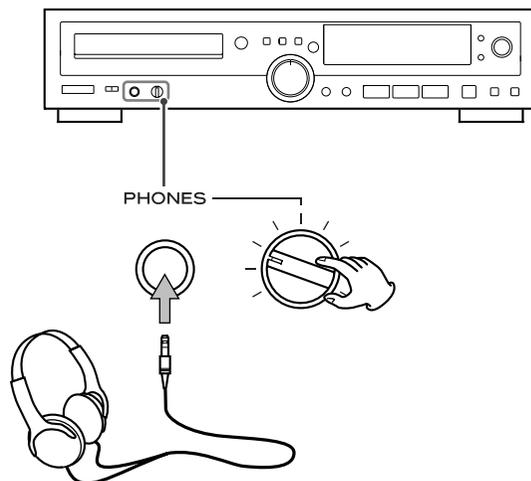
C 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

- ⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

D ヘッドホンで聴くには

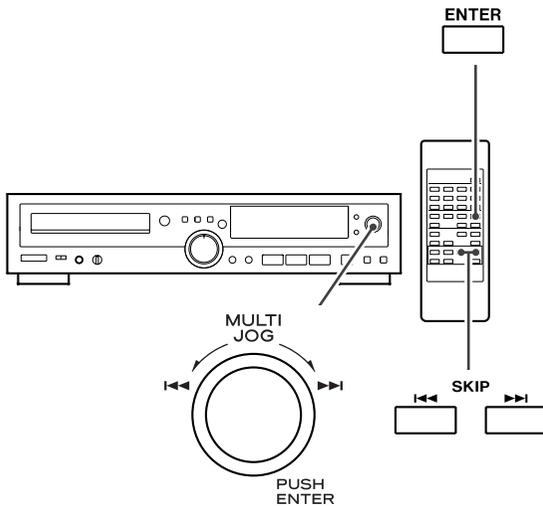
ヘッドホンプラグをPHONESジャックに差し込み、適切な音量に調節してください。



- ⚠ ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

基本操作

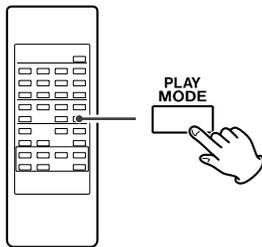
SKIPボタンとENTERボタン



リモコンのSKIPボタンは、本体のMULTI JOGをまわしたときと同じ動きをします。

リモコンのENTERボタンは、本体のMULTI JOGを押したときと同じ動きをします。

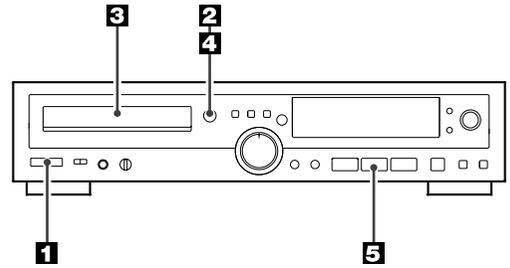
PLAY MODE ボタン



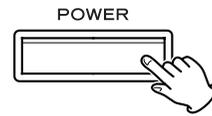
リモコンのPLAY MODE ボタンを押すたびに再生のモードが変わります。



再生



1 電源を入れる。



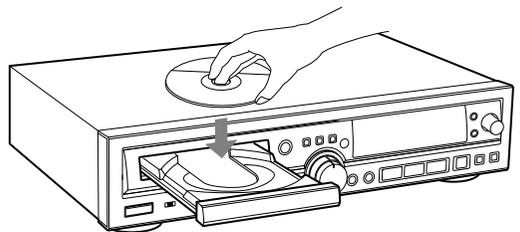
ディスクがセットされていない場合は"Welcome!" "TOC Reading"のあと "NO DISC"と表示されます。

2 OPEN/CLOSE ボタン(▲)を押す。

ディスクトレイが手前に出ます。



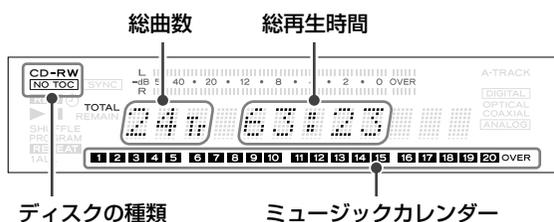
3 ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせる。



4 OPEN/CLOSE ボタン(▲)を押す。

ディスクトレイが閉まります。

OPEN/CLOSE



"TOC Reading"のあと、ディスクの種類、総曲数、総再生時間が表示されます。

- ミュージックカレンダーには20曲まで表示され、再生が終わった曲から消えていきます。
- ディスクの総曲数が20曲を越える場合は"OVER"が点灯します。

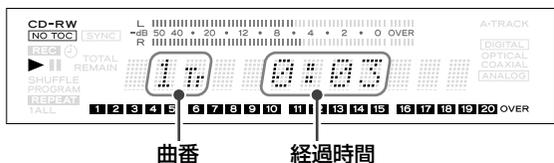
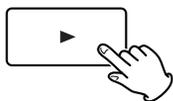
ディスクの種類

- CD : 市販のCDおよびファイナライズ済のCD-R
- CD-R : CD-R
- CD-RW : CD-RW
- NO TOC : ファイナライズされていないCD-R/CD-RW

5 PLAY ボタン(▶)を押す。

一曲目から再生が始まります。

PLAY

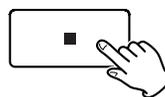


- 再生停止中は背面のDIGITAL OUT端子からデジタル信号は出力されません。(OPTICAL, COAXIALとも出ません。)他のデジタル機器と同期させる場合は、いったんPAUSEボタンを押して再生ポーズ状態にし、デジタル出力信号が安定してからPLAYボタンを押してください。

A 再生をやめるには

STOPボタン(■)を押すと再生が停止します。

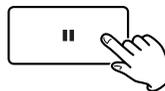
STOP



B 再生を一時停止するには

PAUSEボタン(⏸)を押すと再生が一時停止します。PAUSEボタン(⏸)またはPLAYボタン(▶)を押すと再び再生が始まります。

PAUSE



C ディスクを取り出すには

OPEN/CLOSEボタン(▲)を押すと、再生が停止してディスクトレイが開きます。

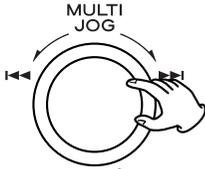
OPEN/CLOSE



選曲するには

D 好きな曲から再生するには(スキップ)

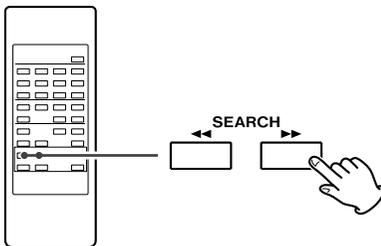
再生中に MULTI JOG(◀◀/▶▶)を回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。



- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。PLAY ボタンを押すと再生が始まります。
- 再生中は、◀◀の方向に一回クリックすると再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、MULTI JOGを続けて回してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- 最初の曲の再生/停止中に左に回すと、最後の曲にスキップします。また、最後の曲の再生/停止中に右に回すと、最初の曲に戻ります。
- リモコンの場合はSKIP ボタン(◀◀/▶▶)を押してください。

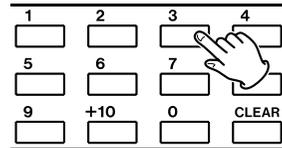
E 聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にリモコンのSEARCH ボタン(◀▶)を押したまましていると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。



F リモコンで再生したい曲を選ぶには。

停止中または再生中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

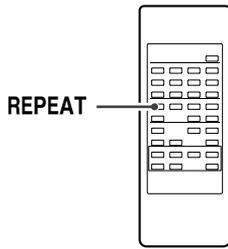


曲番7:

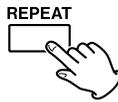
曲番23: ⇒ ⇒

- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。
- シャッフル再生モードでは操作できません。
- プログラム再生モードでは、数字キーは曲のプログラムに使用しますので、選曲には使えません。

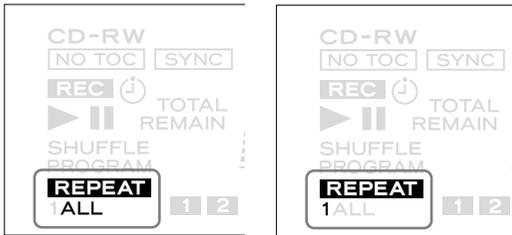
リピート再生



本体またはリモコンのREPEAT ボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。



→ REPEAT ALL → REPEAT 1 → (オフ)



■ 全曲リピート[REPEAT ALL]

ディスクの全ての曲を繰り返し再生します。プログラムモードでは、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

■ 一曲リピート[REPEAT 1]

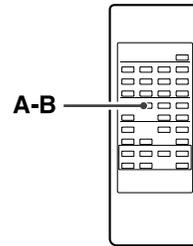
再生中にREPEAT ボタンを押して"REPEAT 1"を選ぶと、再生中の曲が繰り返し再生されます。一曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲の繰り返し再生に変わります。

- 停止中に一曲リピートに設定してから曲番を選んで再生すると、その曲が繰り返し再生されます。

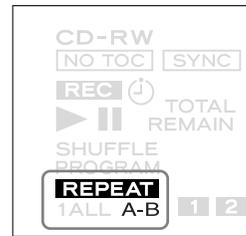
■ A-B間リピート

1つの曲の中で聴きたい部分を繰り返して再生することができます。

- 1 再生中に、繰り返したい部分の始めの位置でリモコンのA-Bボタンを押します。



ディスプレイの [REPEAT] が点灯し、[A-B] が点滅します。

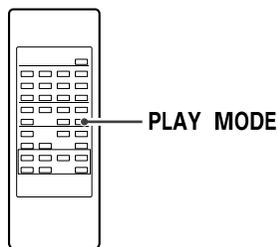


- 2 再生を続け、繰り返したい部分の終わりの位置でリモコンのA-Bボタンを押します。

[A-B] が点滅から点灯に変わり、A点からの再生が繰り返されます。

- もう一度A-Bボタンを押すとA点、B点の位置は解除され、通常の再生になります。
- STOPボタンを押すとA点、B点の位置は解除され、再生は停止します。

シングル再生



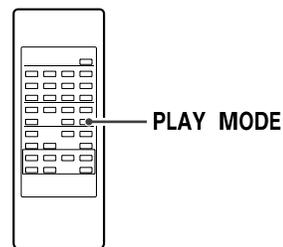
シングル再生モードでは1曲だけ再生すると、停止します。

リモコンのPLAY MODEボタンを押すたびにモードが変わります。シングル再生を選んでください。



- シングル再生モードを解除したいときは、PLAY MODE ボタンを3回押してください。
- シングル再生では全曲リピート [REPEAT ALL] に設定しても1曲リピートの動作になります。

シャッフル再生



シャッフル再生モードで再生すると、ディスクの曲がランダムに再生されます。

リモコンのPLAY MODEボタンを押すたびにモードが変わります。シャッフル再生を選んでください。



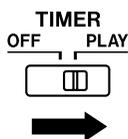
- シャッフル再生中に MULTI JOG を ►► の方向に一回クリックすると、次の曲がランダムに選択されます。◄◄ の方向にクリックすると、現在の曲の頭に戻ります。
- シャッフル再生を中断したいときは、STOP ボタン(■) または OPEN/CLOSE ボタン(▲)を押してください。
- シャッフル再生モードを解除したいときは、PLAY MODE ボタンを2回押してください。
- シャッフル再生で全曲リピートの動作をさせると、全曲を繰り返すたびに違う順番で再生されます。
- シャッフル再生では最初の曲から最後の曲にスキップすることはできません。

タイマー再生

外部のオーディオタイマーと併用して、希望の時刻に再生を始めることができます。

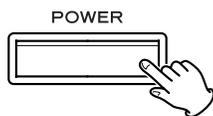
1 再生したいCDをセットする。

2 TIMERスイッチをPLAYに切り換える。



ディスプレイの Ⓞ マークが点灯します。

3 本機の電源スイッチをいったん切る。

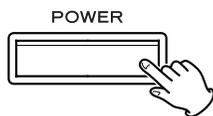


切る

4 本機の電源プラグをタイマーの電源出力に接続する。

5 タイマーを設定する。

6 本機の電源スイッチを入れておく。



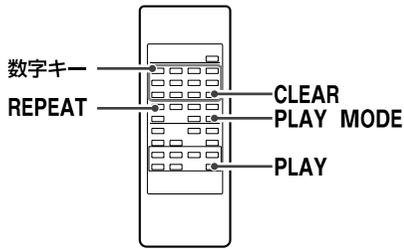
入れる

設定した時刻になり本機に電源が供給されると、再生が始まります。

再生中は Ⓞ マークが点滅します。

- タイマーから電源が投入されてもTOC情報の読み込みに時間がかかりますので、再生はすぐには始まりません。
- リPEATモード、再生モードの設定は電源を切っても保存されています。タイマー作動時も設定されたモードで再生します。ただし、プログラム再生モードに設定してあったときは、電源を切ると通常再生モード(Continue)に戻ります。
- タイマーの取り扱いについてはタイマーの取扱説明書をお読みください。

プログラム再生

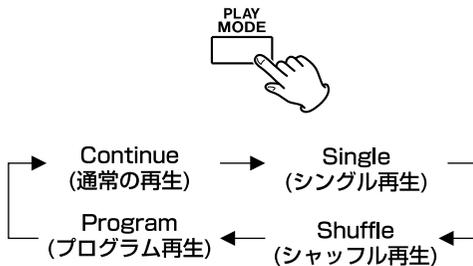


聴きたい曲を聴きたい順に、32曲までプログラムして再生することができます。

- 停止中でも再生中でもプログラムできます。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

1 リモコンのPLAY MODE ボタンを押してプログラム再生モードにする。

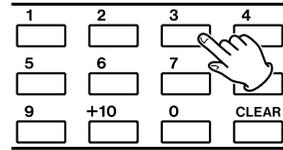
リモコンのPLAY MODE ボタンを押すたびにモードが変わります。



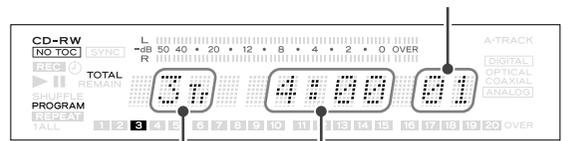
プログラム再生モードにすると"PROGRAM"インジケータが点灯します。

2 曲番を選ぶ。

リモコンの数字キーで曲番を選んでください。



プログラム番号(1~32)

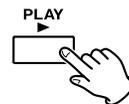


曲番 プログラムした曲の再生時間の合計

- 再生中にプログラム再生モードにした場合は、そのとき再生していた曲が最初にプログラムされます。
- 停止中は、本体のMULTI JOGでもプログラムできます。MULTI JOGをまわして曲番を選んでから、MULTI JOGを押してください。MULTI JOGを押す前にSTOPボタンを押すと、その曲はプログラムされません。
- MULTI JOGは、再生中はSKIPボタンとして機能しますので、プログラムには使用できません。
- 間違えてプログラムした場合、CLEARボタンを押すと最後にプログラムした曲だけが削除されます。

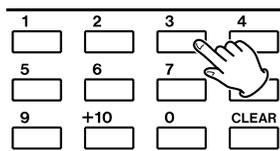
3 停止中にプログラムした場合は、曲番を選び終わったらPLAYボタン(▶)を押す。

プログラム再生が始まります。



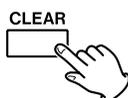
A プログラムに曲を追加するには

数字キーで希望の曲番を選ぶと、プログラムの最後に曲が追加されます。

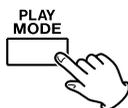


B プログラムの一部を削除するには

CLEAR ボタンを押すと、プログラムの最後の曲が削除されます。



C 全てのプログラム内容の消去



PLAY MODE ボタンを押してプログラム再生モードを解除すると、全てのプログラム内容が消去されます。

OPEN/CLOSE ボタン(▲)を押した場合、または停止中にSTOP ボタンを押した場合は、プログラム再生モードは解除されませんが、プログラム内容は消去されます。

POWER ボタンを押すと、プログラム再生モードが解除されて、全てのプログラム内容も消去されます。

D プログラムした曲をリピート再生するには



プログラムしたあと、REPEAT ボタンを押して全曲リピートにすると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

- 32曲までプログラムできます。32曲をこえると "PGM Full !"が表示されます。
- プログラムした曲の再生時間の合計が100分以上になると、"--:--"が表示されます。
- 1曲もプログラムされていない状態で再生ボタンを押すと、プログラムモードを解除してディスクの1曲目から通常の再生が始まります。

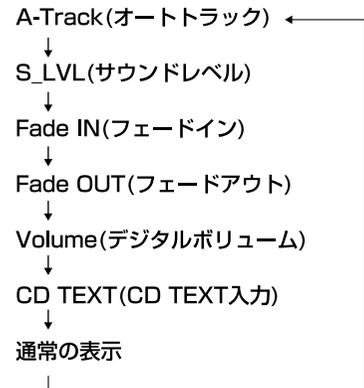
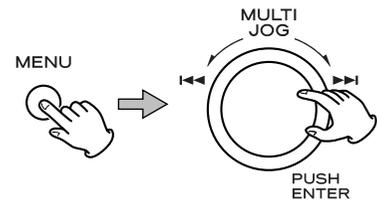
録音の前に

- CDの規格により、99曲までしか録音できません。また、4秒以下の曲は録音できません。
- 録音を開始してから4秒以内にSTOPボタン(■)またはPAUSEボタン(⏸)を押した場合は、4秒になってから停止します。その間は無音録音状態になります。
- 録音の途中でディスクの録音可能時間が0になった場合は、"Disc Full"と"PMA Writing"を表示して、停止します。
- 途中まで録音してあるディスクを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。
- ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。(26ページ)
- シンクロ録音機能やオートトラック機能を使う場合、本機はサウンドレベルで設定したレベルに従って録音を開始し、曲を区切ります。そのため、冒頭や曲間に無音部分のあるソースを録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。

録音のための設定

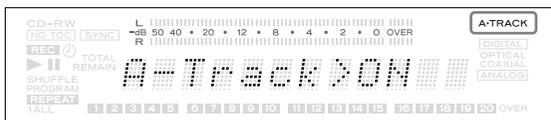
録音するときの設定を必要に応じて変更することができます。メモリーバックアップ機能がありますので、設定した内容は、コンセントから電源プラグを抜いて放置しても、半永久的に保持されます。

MENUボタンを押すたびに項目が変わります。MENUボタンで変更したい項目を選んだら、MULTI JOGをまわして変更してください。設定が終わったら、MULTI JOGまたはMENUボタンを押して終了してください。



- 前回設定した項目が最初に表示されます。(電源を切ると、"A-Track"から表示されます。)
- 表示される項目は、この機器の状態やディスクの内容により変わります。

オートトラック [A-Track]



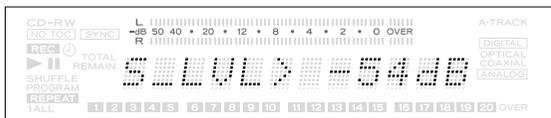
オートトラックをオンにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。デジタル信号で曲の変わり目を検出した場合や、入力信号が2秒以上続けて無音状態(サウンドレベルで設定したレベル以下)になったあとに次の曲が始まった場合に、自動的に曲番を更新します。

オートトラックがオンのときは、ディスプレイの右上に“A-TRACK”が表示されます。

オートトラックがオフのときは、録音中、曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して曲番を付けてください。

- オートトラックがオンのときでも、録音中にRECORDボタンを押すと曲の途中で曲番を追加することができます。

サウンドレベル [S_LVL]



オートトラックで曲番を付けるときや、シンクロ録音するときに、「無音状態」として検出するための音のレベルを変更することができます。

この取扱説明書では、録音するソースのレベルがサウンドレベルで設定した値より低い状態のことを、無音状態と呼びます。

選択できる数値は、-24,-30,-36,-42,-48,-54,-60,-66,-72dBです。初期値は-54dBです。

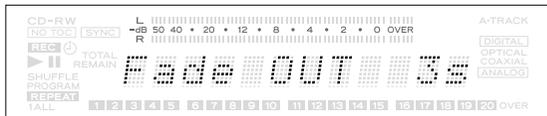
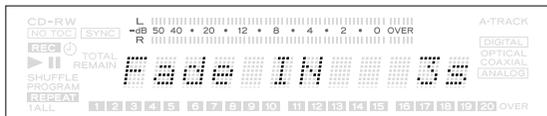
シンクロ録音がうまく働かない場合

アナログ入力など、雑音のあるソースをシンクロ録音するときに、サウンドレベルをその雑音より下に設定してしまうと、シンクロ録音できません。その場合はサウンドレベルを高くしてください。

曲の頭が欠ける場合

小さな音から始まる曲をシンクロ録音するときに曲の頭が欠けてしまう場合は、サウンドレベルを低くしてください。CDからデジタル入力で録音するときなど、雑音がない場合は、サウンドレベルを低く設定することができます。

フェードイン・フェードアウト [Fade IN, Fade OUT]



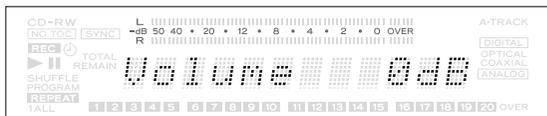
フェードイン/フェードアウトを使って録音するときのフェード時間を変更することができます。

MENUボタンで“Fade IN”または“Fade OUT”を選び、MULTI JOGで変更してください。

設定範囲は1～24秒です。初期値は3秒です。

フェードイン/フェードアウトを使って録音する方法は24ページをご覧ください。

デジタルボリューム [Volume]

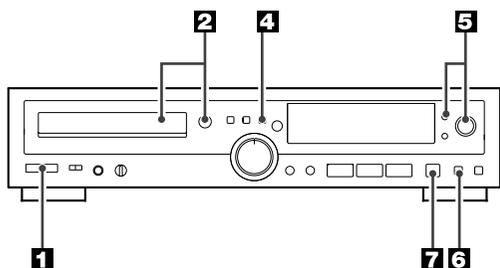


デジタル入力用(OPTICAL/COAXIAL)とアナログ入力用(ANALOG)の録音レベルを、別々に設定することができ、入力選択に応じて切り換わります。

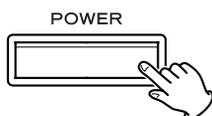
INPUT SELECTボタンで入力するソースを選んでから設定してください。

- デジタルダイレクトがオンのときは、表示されません。

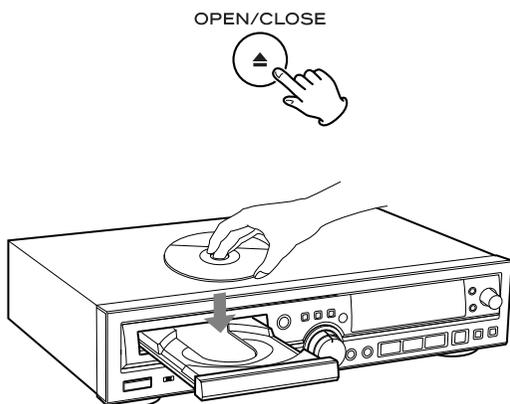
CDを簡単にコピーするには



1 電源を入れる。



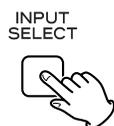
2 録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



OPEN/CLOSE ボタンを押すとディスクトレイが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせてから、OPEN/CLOSE ボタンを押してトレイを閉めてください。

3 CDプレーヤーにCDをセットして、再生の準備をする。

4 INPUT SELECT ボタンを押して OPTICAL または COAXIAL を選ぶ。



OPTICAL(デジタル入力) :

光ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

COAXIAL(デジタル入力) :

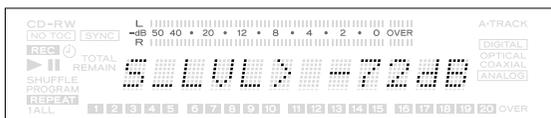
同軸ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

5 MENU ボタンを押して設定を確認する。

MENU ボタンを押すたびに設定項目が変わります。

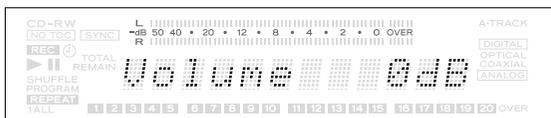


1. サウンドレベルを-72dBに設定する。



MENU ボタンを押して"S_LVL"を選び、MULTI JOG を左にまわして-72dBにしてください。

2. デジタルボリュームを0dBに設定する。

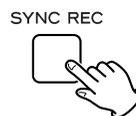


MENU ボタンを押して"Volume"を選び、MULTI JOG をまわして0dBにしてください。

1～2の設定が終わったら、MULTI JOG を押してください。

6 SYNC REC ボタンを押して"SYNC ALL"を表示させる。

SYNC REC ボタンを押すたびに SYNC ALL → SYNC 1 → SYNC OFF の順に変わります。



シンクロ録音モードになり、**SYNC** が点灯します。SYNC ALL に設定すると自動的にオートトラックがオンになります。

7 RECORD ボタンを押す。

録音待機状態になり、**REC** と **II** が点灯します。



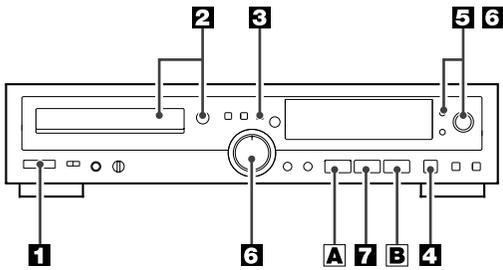
8 CD プレーヤーで CD を再生して、シンクロ録音を始める。

- CD の再生が始まると本機は自動的に録音を始めます。
- CD の再生が終わると本機は自動的に停止します。

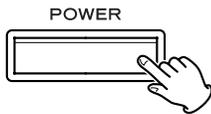
"PMA Writing"が表示されているときは

録音を停止すると、"PMA Writing"が表示されます。表示中はボタン操作を受け付けません。録音した内容をディスクに記録していますので、電源を切ったり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

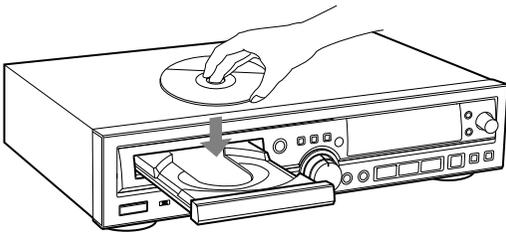
録音



1 電源を入れる。



2 録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



OPEN/CLOSE ボタンを押すとディスクトレイが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせてから、OPEN/CLOSE ボタンを押してトレイを閉めてください。

3 INPUT SELECT ボタンを押して録音するソースを選ぶ。



INPUT SELECT ボタンを押すたびに、以下のように変わります。

OPTICAL(デジタル入力) :

光ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

COAXIAL(デジタル入力) :

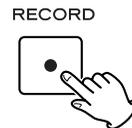
同軸ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

ANALOG(アナログ入力) :

LINE INに接続した機器から録音するとき

4 RECORD ボタンを押す。

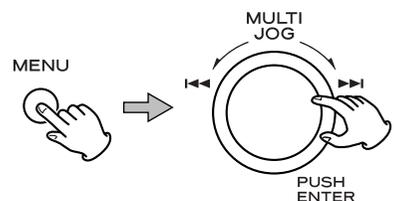
録音待機状態になり、**REC** とIIが点灯します。



- デジタル入力の場合に入力信号がない状態でRECORD ボタンを押すと、"D-IN UNLOCK"と表示されます。その場合はいったんSTOP ボタンを押し、信号を入力してからRECORD ボタンを押してください。

5 曲番の付け方を選ぶ。(オートトラック)

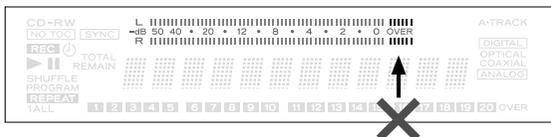
MENU ボタンとMULTI JOGで、曲番の付け方を選んでください。(19ページ)



6 必要に応じて録音レベルを調節する。

調節する必要がない場合は **7** に進んでください。

録音するソースの音を出し、音が最も大きいときにピークレベルメーターの"OVER"が点灯しないように調節してください。"OVER"が点灯すると、音が歪んでしまいます。

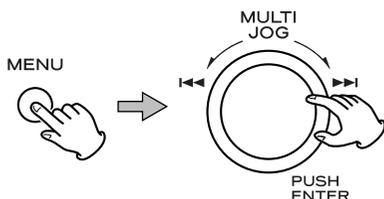


デジタル入力の場合

デジタルボリュームで調節します。

MENU ボタンを繰り返し押しして"Volume"を選び、MULTI JOGをまわして調節してください。調節が終わったら、MULTI JOGを押すと録音待機状態に戻ります。

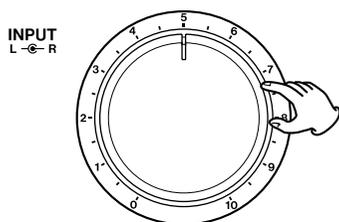
CDなどを録音する場合、通常は0dBにしてください。



アナログ入力の場合

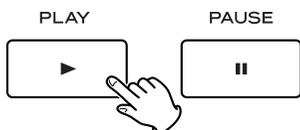
本体のINPUTつまみをまわして調節します。

- デジタルボリュームは0dBにしておいてください。



7 録音を始める。

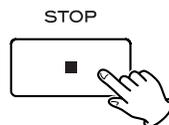
PLAY ボタン(▶)またはPAUSE ボタン(⏸)を押してから録音するソースを再生し、録音を始めてください。



- 録音中にRECORD ボタンを押すと、曲番が付きます。

A 録音を止めるには

STOP ボタン(■)を押すと、"PMA Writing"が表示されたあと、録音が停止します。

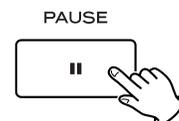


"PMA Writing"が表示されているときは

表示中はボタン操作を受け付けません。

録音した内容をディスクに記録していますので、電源を切ったり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

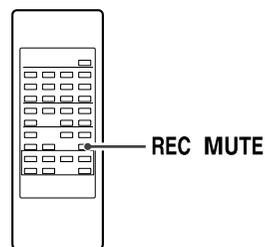
B 録音を一時停止するには



PAUSE ボタン(⏸)を押すと一時停止状態になり、⏸が点灯します。PAUSE ボタン(⏸)またはPLAY ボタン(▶)を押すと、再び録音が始まります。

- 一時停止するたびに曲番が付きます。

C 無音録音状態にするには

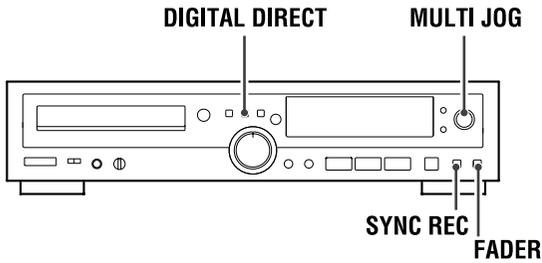


録音中にリモコンのREC MUTE ボタンを押すと無音録音状態になり、約4秒後に一時停止(録音待機)状態になります。

PLAY ボタン(▶)またはPAUSE ボタン(⏸)を押すと、再び録音が始まります。

- 一時停止するたびに曲番が付きます。

録音するときに便利な機能



シンクロ録音

シンクロ録音はソースのレベルを検出して自動的に録音を開始、停止する機能です。

シンクロ録音には録音の自動停止のしかたにより、つぎの2つのモードがあります。

SYNC ALL

無音状態が6秒続くと停止します。

SYNC 1

1曲目が終わると（2曲目の始まりを検出すると）停止します。または、無音状態が6秒続くと停止します。

無音状態とは、ソースのレベルがメニューのS_LVLで設定したレベルよりも低い状態のことです。

録音開始条件

シンクロ録音を開始する条件はソースにより異なります。

DATの場合

START IDを検出して開始します。

CD、MDの場合

トラック開始情報を検出し、なおかつソースのレベルがS_LVLレベルよりも高くなると開始します。

上記以外のデジタルソース、およびアナログソースの場合、ソースのレベルがS_LVLレベルよりも高くなると開始します。

1 SYNC REC ボタンを押してモードを選択する。

押すたびに「SYNC ALL」→「SYNC 1」→「SYNC OFF」の順に切り換わります。

SYNC ALLを選択すると、**[SYNC]**と**[ALL]**が点灯します。

SYNC 1を選択すると、**[SYNC]**と**[1]**が点灯します。

2 RECORD ボタンを押して録音待機状態にする。

3 録音するソースを再生する。

自動的に録音が始まります。ソースの再生が終わると自動的に停止します。

- 録音レベルの調整はシンクロ録音モードにする前に行ってください。シンクロ録音モードにし、録音待機状態にしてからでは、レベル調整のためにソースを再生すると、そこから録音が始まってしまいます。停止状態で録音レベルを見るにはリモコンのMONITORボタンを押してモニター状態にしてください。
- SYNC REC ボタンは録音待機状態にする前に押してください。録音待機状態にしてからではSYNC REC ボタンは無効になります。
- シンクロ録音待機中に本機のPLAY ボタン(▶)またはPAUSE ボタン(⏸)を押して録音を開始することはできません。
- シンクロ録音中にPAUSE ボタン(⏸)やFADER ボタンを押して録音を一時停止すると、シンクロ録音は解除されます。
- シンクロ録音中にRECORD ボタンを押して曲番を追加しても、シンクロ録音は解除されません。
- SYNC ALL に設定すると自動的にオートトラックがオンになります。

フェードイン・フェードアウト

23ページの**6**で録音レベルを調節したあとに、録音待機状態でFADER ボタンを押すと、フェードインしながら録音を始めます。

録音中にFADER ボタンを押すと、フェードアウトしながら録音待機状態になります。

フェードイン中のフェードアウト、フェードアウト中のフェードインも可能です。

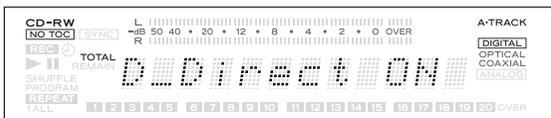
- フェードイン・フェードアウトの時間は変更できません。(19ページ)
- シンクロ録音と同時には使えません。
- FADER ボタンを押すのと同時に、録音するソースの再生を始めてください。

デジタルダイレクト

44.1kHzのデジタルソースを、入力されたデジタル信号のまま録音する機能です。

CDなどをそのままコピーするときにお使いください。

DIGITAL DIRECT ボタンを押すたびに、デジタルダイレクトのオンとオフが切り換わります。



オン

サンプリングレートコンバーター：バイパスします。
デジタルボリューム：設定できません。

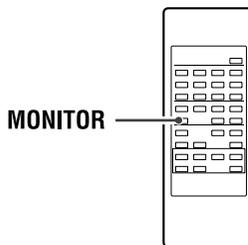
録音中、録音待機中およびモニター中には、"DIGITAL" がゆっくり点滅します。(入力がOPTICALまたはCOAXIALのときのみ)

オフ

サンプリングレートコンバーター：入力する周波数によって自動的にオン/オフが切り換わります。
デジタルボリューム：設定した値になります。

- ディスプレーに "Not Fs 44.1k!" が表示される場合は、デジタルダイレクトをオフにしてください。

モニター



停止中にリモコンのMONITORボタンを押すと、録音するソースをモニターすることができます。モニターを終了するときは、STOPボタンを押してください。

- 録音可能なディスクがセットされていないときにRECORDボタンを押した場合も、モニター状態になります。

オートサンプリングレートコンバーター

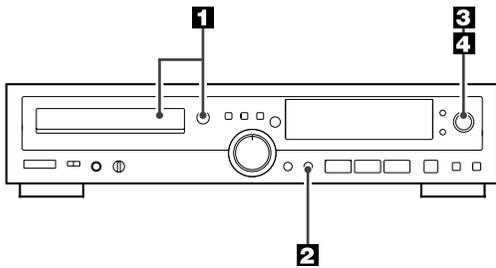
一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

- 48kHz : DATの標準モード、衛星放送のBモードなど。
- 44.1kHz : DATの標準モード、CD、MDなど。
- 32kHz : DATの標準および長時間モード、衛星放送のAモードなど。

CS/BS放送やDATなど、CDと異なるサンプリング周波数(Fs)のソースや、ピッチコントロールのかかったデジタル信号が入力された場合、本機はそれぞれのサンプリング周波数を44.1kHzに自動変換して録音します。また、CDやMDなど、44.1kHzのソースを録音するときは、サンプリングレートコンバーターを使わずに録音します。

これにより、サンプリング周波数が32kHz~48kHzのソースを、切り換え操作なしに高音質なデジタル信号のまま録音することができます。

消去



曲を消去するには

CD-RWの「全ての曲」または「指定した曲から最後の曲まで」を消去することができます。

途中に収録された曲だけを消去することはできません。

ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。

- ファイナライズ済のCD-RWの曲を消去しようとすると、自動的にアンファイナライズされます。

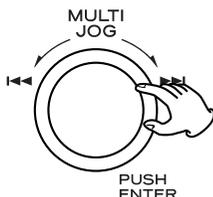
1 CD-RWをセットする。

2 ERASEボタンを押す。

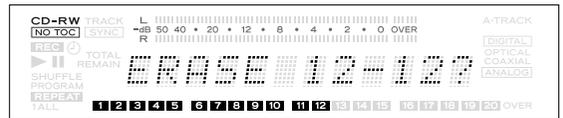


- ERASEボタンは停止中にしか使えません。

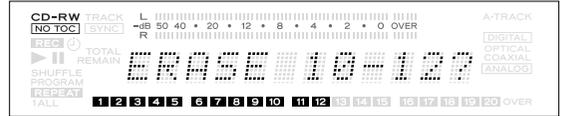
3 MULTI JOGでアンファイナライズ、消去または消去を開始する曲番を選択する。



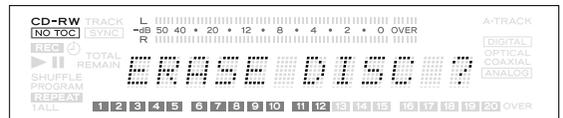
最後の曲だけを消去する場合(例: 曲番 12)



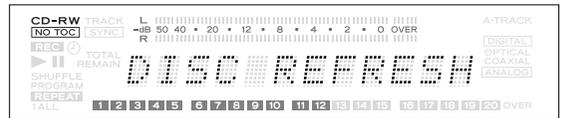
途中から最後の曲まで消去する場合(例: 曲番 10~12)



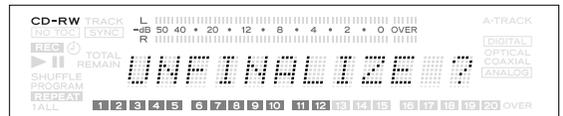
全ての曲を消去する場合



ディスクの内容を全て消去する場合(ディスクリフレッシュ)

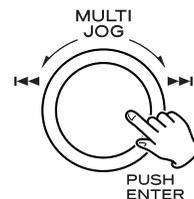


アンファイナライズ



- ディスクリフレッシュには約40分かかりますので、通常の全曲消去には"ERASE DISC"をおすすめします。
- 録音時にエラーを起こすようになったディスクをディスクリフレッシュすると、エラーが発生しなくなることがあります。
- 取り止めたい場合はSTOPボタンを押してください。

4 MULTI JOGを押す。



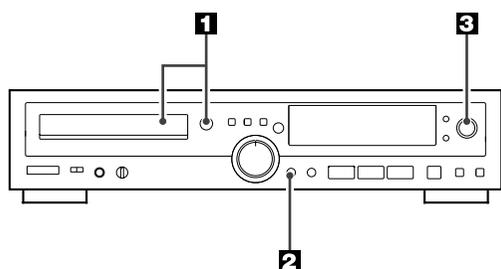
消去が始まります。

所要時間がディスプレイに表示されます。

消去が完了すると、"Complete"と表示して、停止します。

- 消去中はボタンを押しても機能しません。
- 消去中は電源を切らないでください。

ファイナライズ



音声データをCD-RやCD-RWディスクに記録しても、最終的なTOC(録音したデータの情報をディスクに記録しなければ、一般のCDプレーヤーで再生することはできません。

TOCを記録することをファイナライズといいます。

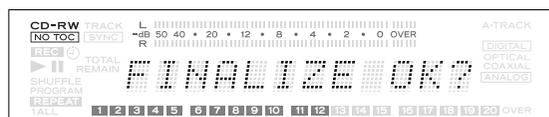
CD-Rをファイナライズすると、通常のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズされたCD-Rにはそれ以上録音することができません。なお、ファイナライズされたCD-Rをセットすると、本機はCDとして認識します。

CD-RWをファイナライズすると、CD-RW対応のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください(前ページ)

1 CD-RまたはCD-RWをセットする。

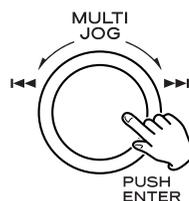
2 FINALIZE ボタンを押す。

FINALIZE



- FINALIZE ボタンは停止中にしか使えません。
- 中断したい場合はSTOPボタンを押してください。

3 MULTI JOG ボタンを押す。



ファイナライズが始まります。
"REC"と"TOC"が点滅し、所要時間がディスプレイに表示されます。
ファイナライズが完了すると、"Complete"と表示して、停止します。

- ファイナライズ中はボタンを押しても機能しません。
- ファイナライズ中は電源を切らないでください。
- ディスクによっては所要時間が"0:00"になってから"Complete"と表示されるまで時間がかかることがあります。

CD TEXTの入力

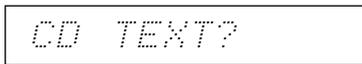
ファイナライズ前のディスクにCDタイトルとトラックタイトルを記録することができます。

入力/表示できる文字

- それぞれ半角で23文字まで入力できます。
- 使用できる文字は英数字、スペースとつぎの記号です。
:;<=>?@!"#\$%&'()*+,-./[\]^_`{|}~
- アーティスト名の入力/表示はできません。

1 停止状態で、MENU ボタンを

"CD TEXT?"と表示されるまで押す。



CD TEXT?

2 MULTI JOG を押す。



T_EDIT> DISC

- CD TEXTの入力を中止するには、MENU ボタンを押します。

3 タイトルを入力する項目を選択する。

MULTI JOGを回すと表示が下のようになります。希望の項目を表示させてMULTI JOGを押します。



T_EDIT> DISC



T_EDIT> 01Tr



T_EDIT> 02Tr

"DISC"はディスクタイトルを、"xxTr"はxx番目のトラックタイトルを意味します。たとえば"DISC"を選択するとつぎのように表示されます。



Disc_

カーソルが点滅している箇所に文字を入力できます。

4 文字を入力する。

文字の入力のしかたについては次ページをお読みください。

- CD TEXTの入力を中止するには文字入力中にMENU ボタンを押すと入力項目選択に戻ります。

5 YES ボタンを押して入力した文字列を確定する。

FINALIZE



ディスプレイは "Writing" → "Write OK" と変わり、"T_EDIT>"に戻ります。

6 手順3から手順5までを繰り返して、必要なタイトルをすべて入力する。

7 "T_EDIT> XXXX"と表示されている状態でSTOP ボタンを押す。

STOP



8 ファイナライズする。

FINALIZE ボタンを押し、"FINALIZE OK?"と表示されたらMULTI JOGを押します。

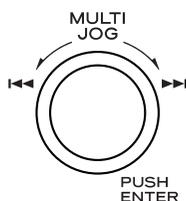
ファイナライズが完了すると、"Complete"と表示して停止します。

- 編集したCD TEXTの内容はファイナライズしないとディスクに記録されません。ファイナライズしないでディスクを取り出すと、編集した内容はキャンセルされます。
- CD-RWの場合に、記録したCD TEXTをファイナライズ後に修正するには、いったんアンファイナライズしてから修正してください。

文字の入力のしかた

文字の選択と確定

MULTI JOG を回して文字を選択し、MULTI JOG を押して確定します。確定すると、カーソルが右に移動します。



大文字／小文字の切り換え

DISPLAY ボタンを押すと、アルファベットの大文字／小文字を切り替えることができます。大文字のときはディスプレイに [CAPS] が点灯します。

DISPLAY



カーソルモードの切り換え

JOG MODE ボタンを押すことにより、カーソルの機能を切り換えられます。

FADER



入力モード

カーソルが点滅しているときはMULTI JOGを回して文字を選択できます。

移動モード

カーソルを点灯に切り換えると、MULTI JOGを回すことによってカーソルを左右に移動できます。

入力した文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを移動して、DEL ボタンを押します。するとその文字が消え、右にあった文字列が左に1文字分詰まります。

ERASE



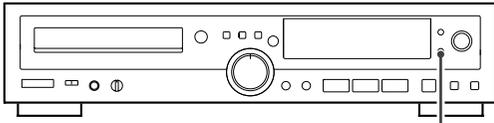
文字を挿入するには

挿入したい位置にカーソルを移動し、JOG MODE ボタンを押します。そこにスペースが挿入され、カーソルが入力モードになりますので、MULTI JOG を回して希望の文字を表示させます。JOG MODE ボタンを押してカーソルモードを移動モードに戻します。

入力した文字を修正するには

上記の削除の手順で修正したい文字を削除し、挿入の手順で希望の文字を挿入します。

ディスプレイの表示



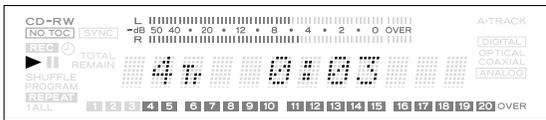
DISPLAY

DISPLAY ボタンを押すと、
ディスプレイの表示が変わります。

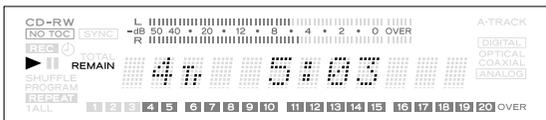


再生中

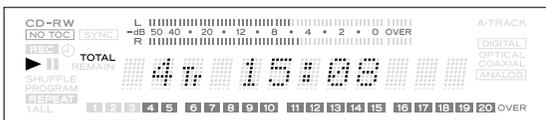
再生中の曲の経過時間



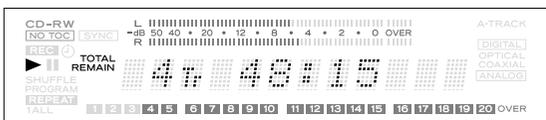
再生中の曲の残り時間



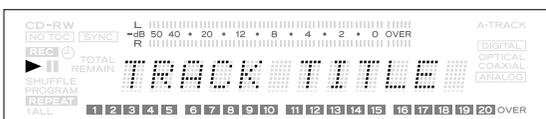
再生中のディスクの総経過時間



再生中のディスクの残り再生時間



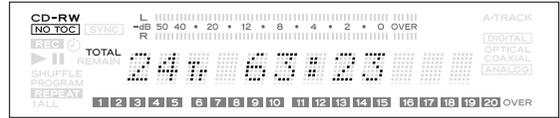
再生中の曲のタイトル



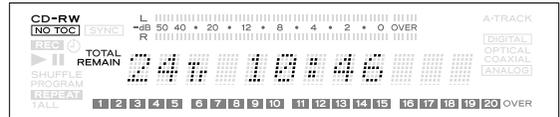
タイトルが12文字より多い場合はスクロールして表示します。

停止中

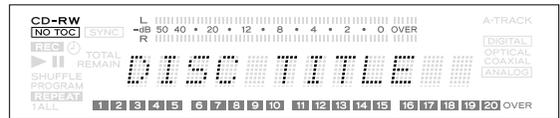
総曲数および総再生時間



録音可能時間(CD-RまたはCD-RWの場合)



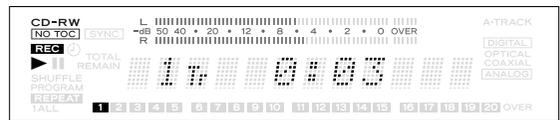
ディスクのタイトル



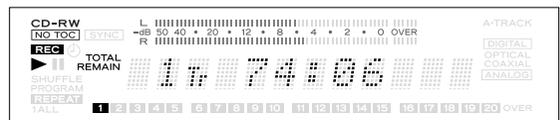
CD-RまたはCD-RWでは、ディスクタイトルを入力済みでファイナライズしてある場合に表示します。タイトルが12文字より多い場合はスクロールして表示します。

録音中

録音中の曲の録音経過時間



録音可能時間



メッセージ一覧

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、STOP ボタンを押してから原因を取り除いてください。

D-IN UNLOCK!

デジタル入力が接続されていません。DIGITAL INに接続した機器の電源を入れてください。

Not Fs44.1k!

デジタル入力のサンプリング周波数が44.1kHzではありません。デジタルダイレクトをオフにしてください。

Erase Error!

消去中にエラーが発生しました。DISC REFRESH してみてください。それでもエラーが発生する場合はディスクに障害があることが考えられます。

Disc Full !!

曲数、または録音時間が限界なので、録音を停止します。

No OPC Area!

OPCエリアがいっぱいで録音できません。ファイナライズしてください。

PGM Full !

すでに32曲プログラムされています。

Disc Error !

ディスクに何らかの障害があります。ディスクを交換してください。

Rec Error!

録音中にエラーが発生しました。ディスクをいったん取り出し、録音をやり直してください。それでもエラーが発生する場合はディスクに障害があることが考えられます。

NO CD-DA

デジタルソースのフォーマットが、本機でサポートしていないフォーマットのために、録音開始できません。たとえばソースがCD-ROMや、AES3信号（業務用フォーマット：IEC60956TYPE I）の場合に表示されます。

System Err!

本体内でのデータ通信に異常が発生しました。まれに電源ノイズや静電気ノイズによりこのような症状が発生することがあります。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、故障によるものと思われるので、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

Need Repair!

EEPROMとの通信中にエラーが発生しました。EEPROMは本体の各種設定を記憶するためのメモリーICです。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、故障によるものと思われるので、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

通常メッセージ

TOC Reading

TOC情報を読み取り中です。

Now OPC

最適な状態で録音するために、セットされているディスクの特性に合わせてキャリブレーションしています。（OPC : Optimum Power Control）

PMA Writing

録音した内容をディスクに記録中です。（PMA : Program Memory Area）

Complete

消去またはファイナライズが完了しました。

NO CD-TEXT

トラックタイトルが記録されていません。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない

- 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない。

- システムとの接続を確認してください。
- アンプの操作を確認してください。

"Disc Error !"が表示される。

- ディスクが損傷しています。ディスクを入れ直しても"Disc Error !"が表示される場合は、ディスクを交換してください。

再生できない。

- 結露している場合は、ディスクを取り出して数時間放置してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

シャッフル再生を解除できない。

- リモコンのPLAY MODE ボタンを2回押して通常の再生モードにしてください。

音飛びがする。

- 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

録音できない。

- ファイナライズ済のCD-R/CD-RWには録音できません。ディスクを交換してください。
- CD-Rの録音残り時間が足りない場合は、ディスクを交換してください。
- CD-RWの録音残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかディスクを交換してください。
- 録音レベルを調節してください。
- アンプの操作を確認してください。
- 録音できないディスクが入った状態でRECORD ボタンを押すと、入力ソースのモニター状態になります。STOP ボタンを押してモニターを解除し、ディスクを交換してください。

リモコンで操作できない。

- 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
- 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

雑音がする。

- テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

CD-Rディスクについて

本機は1倍速での記録に最適化しております。データ用のCD-Rは高速記録用に最適化してあるものが多く、ディスクによっては正常に記録できないことがあります。

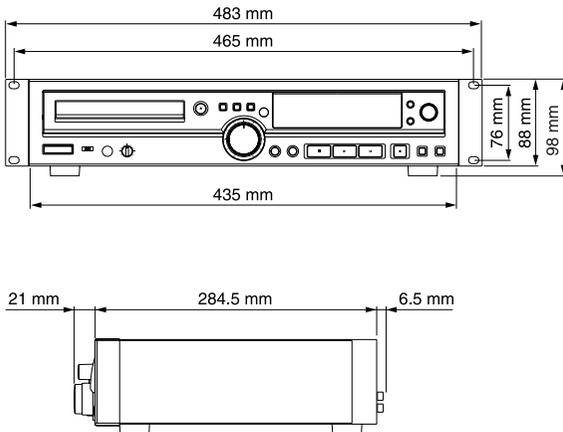
CD-RWディスクについて

CD-RWについては1～4倍速に対応したディスクのみ使用可能です。High Speed、およびそれより高速記録のCD-RWは再生、記録ともにできません。(ファイナライズ済みのディスクでも再生できません。)

仕様

記録メディア	CD-R/CD-RW
入力サンプリング周波数	32kHz～48kHz
録音サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	20Hz～20kHz (再生時：±1dB、記録時：+1dB、-1.5dB)
S/N比	92dB以上(再生時) 88dB以上(記録時)
ダイナミックレンジ	92dB以上(再生時) 88dB以上(記録時)
歪率	0.008%以下(再生時) 0.01%以下(記録時)
ワウ・フラッター	測定限界以下(0.001%以下)
ライン出力レベル	2Vrms(フルスケール時)
電源	AC100V、50-60Hz
消費電力	17W
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	483×98×312mm
質量	6.7kg
動作保証温度	5℃～35℃
付属品	リモコン(RC-RW750) リモコン用乾電池(単4)×2本 ラックマウントビスキット 取扱説明書 保証書

寸法図



仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。
表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

32ページの「おや？故障かな？」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD-RWデッキ CD-RW750

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術 〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:00～17:00です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、
「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の
電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
<http://www.teac.co.jp/tascam/>